

DJ Magazine 7月号(2018)

ドキュメンタリージャパン

vol.29 2018.7.1

映像制作会社ドキュメンタリー
ジャパンが今お届けするテレビ
番組や映画のお知らせです。



SWITCHインタビュー達人達

1 **Topics** 宇多丸(ラッパー・ラジオパーソナリティ) × 畑中章宏(民俗学者・編集者)

放送予定: NHK Eテレ 7月7日(土) 午後10:00~11:00
再放送: 7月14日(土) 午前0:00~1:00



ヒップホップ・グループ「RHYMESTER」のラッパーにして、人気ラジオパーソナリティ 宇多丸と、SNS やポケモン GO など、21 世紀の社会現象を読み解く民俗学者・編集者の畑中章宏の対談。外来文化のヒップホップを日本で表現するのに試行錯誤してきた宇多丸が、日本人の「感情」の伝承を務める畑中と共に、遠野物語の舞台遠野で、特に東日本大震災後の人々の「腑に落ちない感情」についてトーク。妖怪物語にも及び、改めて“日本人”をふり返る。

つぶやきの製作スタッフの

先々月の「つぶやき」で、南仏ロケの際に大寒波が襲来していたと書きましたが、またしても降られました。前回は、1週間近く滞在し気持ち良く晴れたのが半日程度。今回は4日中3日雨が。なかなかいい勝負ですが、今回は、初日から携帯と財布が水没するというおまけつき。しかし、対談ではそんな雨の話がフグとなり、だんだんと日本人の話へ…果たして雨はどう活かされたのか。その目でお確かめください。

ディレクター 渡部啓介



2 **Topics** 世界ふれあい街歩き

ベネチア 水の都の春

放送予定: NHK-BSプレミアム 7月10日(火) 午後8:00~8:59
再放送: 7月17日(火) 午後8:00~8:59



今回の街歩きは、春めく“水の都”ベネチア。中世から残る美しい街並みを歩けば、ゴンドラ乗りの修行をする親子や1700年代から伝統の手織物を作り続ける生地屋さん、病気を乗り越え強く生きる女性ボートチームとの出会いなど、見所満載。車が一切通らない街だからこそ、自分のペースで生きる愉快的な人々と美しい映像をぜひご覧ください!

つぶやきの製作スタッフの

初めての海外ロケ。緊張のあまりスプリッツを飲みすぎて運河に落ちてしまうハプニングもありましたが、今ではいい思い出です。ロケの間は車が一切使えないため、移動は船か歩き。毎日手漕ぎの渡し船に立って乗っていたのですが、私の立ち方を見ていたゴンドラ乗りが「修行しないか」とスカウト。今ではベネチアで暮らしながらゴンドラで年収1500万円を稼いでいます!…なんていうのんびりした生き方もいいなあと感じたベネチアロケでした!

AD 森脇 可実



3 **Topics** ザ・チーム ~勝利への方程式~

“モチベーター”が育てる 未来のなでしこたち!
十文字高校 女子サッカー部 (仮)

放送予定: BS11 7月13日(金) 午後10:00~10:30



今回は、巣鴨にある十文字高校の女子サッカー部に密着。2017年に冬の全国大会で初優勝を果たした彼女たち。今年新たにチームを引っ張る3年生はケガ人が続出し足並みが揃わない。今から20年前、ボール一つ無いところから強豪校にまで育て上げた石山監督は、“モチベーター”としてどのように彼女たちを導いていくのか!?夏のインターハイ出場をかけた熱い戦いを追う。

Special

カメラマン 山崎裕 × プロデューサー 牧哲雄 「俺とあいつのインタビュー論」

百戦錬磨のドキュメンタリストが語る IVの極意とは？

6月、過去の番組から抜粋した
珠玉のインタビュー(以下、IV)を
DVDに収録し、DVDをテキストに
熱いトークが盛り込まれた。
登場したのはDJの重鎮二人。

まずはディレクターとしても活躍した名インタビューアー牧さん。取材対象の家で昼寝するほど相手の懐に飛び込み、自分をさらけ出すことで獲得してきたIV映像からは、短い中に人生を感じられる言葉が光っていた。IVは、聞きたいことをそのまま聞くのではなく、どこで何をいつどのように聞くかを周到に考えること、そこにもう一段表現を深める秘密があるように感じた。

続いてはカメラマンの視点で山崎さんが語る。曰く「IVはポートレート」。三脚で撮るのか、手持ちで撮るのか、背景をどう感じさせるか、風や光をどう効果的に使うか；取材相手に適した画作りを毎回行う。IVとはただ言葉をもらうだけでなく、映像的な表現を駆使することで、語る言葉以上のものを伝えることができるという。

お二人とも何十年前も前のことでも、なぜその時そうしたのかを昨日のことのように詳細に語ってください、「昔話」を聞くのではなく、生きたドキュメンタリーの知恵を聞くことができ、若手も負けてはいられない！と思いをたぎらす夜となった。



プロフィール

カメラマン 山崎裕

数多くのテレビドキュメンタリー、記録映画、CMなどに撮影監督として参加する傍ら、是枝裕和、河瀬直美始め名だたる監督と組み劇場用映画の撮影も担当。



プロフィール

プロデューサー 牧哲雄

1981年DJの創設に参加し、ディレクター、プロデューサーとして活動。「ネイチャリングSP 赤道物語」でATP賞グランプリを受賞。

News

1 ▶ ギャラクシー賞を受賞しました！

◆ギャラクシー選奨◆

2018年2月18日放送
【テレビ朝日】(テレメンタリー)
東京クルド TOKYO KURDS
C:松村 敏行 他
D:日向 史有 P:牧 哲雄/本木 敦子

◇ギャラクシー上半期奨励賞◇

2017年8月20日放送
【NHKBS1】(BS1スペシャル)
地下鉄に咲く小さな花 韓国 老人 宅配便
C: 桜田 仁
D:小林 潤子 P:石川 朋子

◇ギャラクシー上半期奨励賞◇

2017年9月2日放送
【NHKEテレ】(ETV特集)
青春は戦争の消耗品ではない 映画作家 大林宣彦の遺言
C:井手口 大騎 ダグラス 他
D:木村 直人 P:橋本 佳子

2 ▶ 映画「沖縄スパイ戦史」公開します！

ふたりのジャーナリストが迫った沖縄戦の最も深い闇。
少年ゲリラ兵、戦争マラリア、スパイ虐殺……
そして、ついに明かされる陸軍中野学校の「秘密戦」とは？



監督:三上智恵、大矢英代
プロデューサー:橋本佳子、木下繁貴
製作:DOCUMENTARY JAPAN
東風、三上智恵、大矢英代
配給:東風
2018/日本/DCP/114分/ドキュメンタリー
7月21日(土)より沖縄・桜坂劇場
7月28日(土)東京・ポレポレ東中野にて公開
ほか全国順次

©2018「沖縄スパイ戦史」製作委員会

第23回

プロデューサー 柚口三奈子

【連載】リレーコラム『ドキュメンタリーは〇〇である』

～ドキュメンタリージャパンのスタッフが紡ぐ『ドキュメンタリー』と『ワタシ』の関係～



ドキュメンタリーは“魑魅魍魎”である。

ロケから戻ったディレクターは満面の笑みをたたえていた。ラッシュを終えた編集マンは少しだけ首をかしげた。試写を終えた局のプロデューサーは眉間に皺を寄せた。ADは発酵臭を漂わせながら「わかんね」とつぶやいた。関わる人間それぞれが異なる感情をぶつけあう。そして、宴が終わると妖怪たちは雲散霧消する。まさにドキュメンタリーだな、と感じ入る。

バトンを渡す相手

⇒ ディレクター酒井克さん

自身が愛する世界をことん極め、我が道を行く酒井ディレクターの“ドキュメンタリー感”をきいてみたい！

制作中の番組



その他、多岐に渡る作品を制作中です！詳細はドキュメンタリージャパンのHPまで。

編集後記

DJには、介護や家業等で故郷へ帰省した後戻って活躍するスタッフも多い。来月で30号に突入する月刊の当マガジンも、そんな仲間を支えられている。隔月なんかでなく毎月発行するんだと傲を飛ばしたSは、幼い第一子を育てつつ初号から担当。第二子を出産後もディレクターとして復帰し、マガジンの編集も担っている。そのマガジンはそろそろリニューアルしようかとアイデア孵化中。気張らず、しかし2018年の気分で愛らしく？!

(A.M)

Design by HARIMA koutarou